平成17年度　一般財源研究費傾斜的研究費(全学分)研究報告書

研究テーマ［①大都市の課題解決につながる研究　②教育改善研究　③若手研究者奨励研究］

研究課題名	江戸時代の環境変遷と木造大都市形成からみる東京の基盤研究	
研究者または研究代表者名	所属部局名	職　名
山田昌久	都市教養学部人文社会系国際文化コース	准教授
研究分担者名	部局名・所属研究機関名	職　名
小野　昭	都市教養学部人文社会系国際文化コース	教　授
福田千鶴	都市教養学部人文社会系国際文化コース	助教授
福澤仁之	都市環境学部地理環境コース	教　授
岡　秀一	都市環境学部地理環境コース	准教授
山田幸正	都市環境学部建築都市コース	准教授
藤田香織	都市環境学部建築都市コース	准教授

研究実績の概要（600～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。）

●本研究の目的……東京の再開発に伴って、江戸ー東京の都市形成に関する考古学情報が蓄積した。本研究は、それら考古学情報を元に、首都大学東京の都市教養学部の考古学と史学、都市環境学部の地理学、環境変遷学、建築学の教員により、江戸ー東京の100万を超える木造大都市成立時の問題点を学際的に解明するものである。【今年度の研究進捗】本プロジェクトは、既存科学の枠を超えた複雑な課題を設定してのもので、本来、単年度で完結するような性格のものではない。そこで共同研究者は研究費の継続申請と、外部資金の獲得も視野に入れた研究条件確保により最低3年間の共同研究が必要であると考えた。しかし、一方で研究費の交付を受ける以上、単年度の各自の達成目標を定めた研究も実施した。また、学際研究の有効な進展をめざして、個別の研究活動とは別に、研究課題や個別科学の研究状況の共有を目的とした月例研究会を開催した。

●研究費の執行……①単年度の研究・実験経費＝各分野の調査・実験に使用。②長期研究のため資産・備品の整備費＝デジタル顕微鏡（山田昌・山田幸・藤田使用）、江戸古地図（小野・岡・福澤使用）・明治初期地形図（山田・福田使用）の購入。【実施した調査、実験、研究会】①個別研究＝（山田）⇒江戸遺跡木材データベースの構築、（小野）⇒遺跡の塵廃棄遺構の調査、（福田）⇒木材調達に関する資料収集・近世植林史研究、（福澤）⇒環境変遷ボーリング調査、（岡）⇒花粉分析データの編集、（山田幸・藤田）⇒重要文化財指定民家の報告書データからの家屋使用木材の材積調査。②学際研究（建築＋考古）⇒民家の現地調査による材積計算と建築強度測定実験、（考古＋日本史）⇒江戸・博多の都市形成と区画に関する現地調査、（地理＋考古）⇒遺跡調査での花粉分析によるスギ植林の進行度合いの研究。③月例研究会⇒招聘講師：辻誠一郎東大教授、谷川章雄早大教授、丸山美希学習院大学資料館研究員ほか。各研究分担者。

●研究成果……①陸上搬送力の低い社会にあって、都市建設・継続・災害復旧のための木材確保はたやすい事ではない。省材積型の建築・規格製材保管と運用はそれ以前の建築構想とはことなる、強度の低い建築・集合建築の災害対策としての破壊消防向きの建築などでの施設数増加手法が見えてきた。②都市の維持に際して上下水道の整備や廃棄物の処理の問題を検討した。水路と豊富な流水を活用した水洗都市。廃棄物活用の埋め立て。といった従来からの研究に加えて、池沼底堆積物の分析から都市汚染の少なさが検証された。一方で都市内ゴミ穴や多量廃棄物の存在も明らかになった。

研究発表 ［雑誌論文発表、図書、学会発表等］			
著者（講演者）	論文題目（発表題目）	発表誌（発表大会名）	年月
松本拓, IShevkomud, 内田和則, SKoshitsena, 山田昌久	極東ロシアアムール河下流域におけるニジノタンボフカエ２遺跡の発掘調査	日本考古学協会平成18年度総会　発表要旨集109-111頁	2006年5月
山田昌久	植物素材容器の特性と研究課題	月刊考古学ジャーナル2006年4月号　3-4頁	2006年4月
山田昌久	木部刳りぬき容器	月刊考古学ジャーナル2006年4月号　5-7頁	2006年4月
山田昌久	是川遺跡からみえる縄文工芸 ―是川シンポジウム2005の記録―	分担執筆　東奥日報社	2006年4月
山田昌久	遺跡の木材を総合学で研究する －木製品と木造施設－	京都大学生存圏研究所第12回シンポジウム　木の文化と科学Ⅴ先人に学ぶ木の利用　9－13頁	2006年2月
山田昌久	縄文時代の塗装製品とその技術	是川シンポジウム2005資料集八戸市教育委員会10-16頁	2005年12月
山田昌久	木材加工技術の変遷と森林資源	日本植生史学会大会発表要旨集　31-34頁	2005年12月
山田昌久	低湿地遺跡にみる縄文人の技術	新潟県立歴史博物館シンポジウム　水辺と森と縄文人 －低湿地遺跡の考古学－資料集	2005年10月
山田昌久	NHK講座テキスト　なんでも好奇心－知るを楽しむ　森を利用した縄文人	分担執筆　NHK放送出版会 32-40頁	2005年10月
山田昌久	縄文遺跡を掘る	分担執筆　NHK出版会 131-150頁	2005年7月
山田昌久・石井良	飛騨市域におけるクレヘギ煮冠する調査	人類誌集報2004　首都大学東京考古学研究報告10 17-44頁	2005年5月
山田昌久・高瀬克範ほか	岩手県一戸町御所野遺跡縄文公園・宮城県東北大学農学研究科付属複合生態フィールド研究センターでの斧による加工実験	人類誌集報2004　首都大学東京考古学研究報告10 65-136頁	2005年5月
山田昌久・田島正寛・中西佳子	飛騨みやがわ考古民俗館の山仕事道具	人類誌集報2003　首都大学東京考古学研究報告9 19-56頁	2004年4月
山田昌久	木曲げおよび湾曲面強度を利用する木製道具	人類誌集報2003　首都大学東京考古学研究報告9 63-72頁	2004年4月